

饗庭野演習場における日米共同実動訓練の概要等

知事直轄組織防災危機管理局

1 平成 25 年度日米共同訓練概要の説明（資料 1）

平成 25 年 9 月 24 日（火） 午後 6 時 30 分 於：知事室

説明員：近畿中部防衛局 佐竹局長 ほか

配布資料

- 日米共同訓練（国内における米海兵隊との実動訓練）の概要
について（中部方面総監部広報室）・・・・・・・・・・ 1
- 概要広報説明資料（防衛省）・・・・・・・・・・ 2

2 日米共同訓練に関する要請（資料 2）

(お知らせ)

2 5 . 9 . 2 4
中部方面総監部広報室

日米共同訓練（国内における米海兵隊との実動訓練）の概要について

陸上自衛隊は、次のとおり日米共同訓練（国内における米海兵隊との実動訓練）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目 的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図る。

2 期 間

平成25年10月7日（月）～10月18日（金）

3 場 所

饗庭野演習場

4 担任官

- (1) 日本側：第3師団長 陸 将 鈴木 純治
- (2) 米軍側：第3海兵師団長 少 将 ヘルマン S クラディ (Herman S Clardy)

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

ア 第37普通科連隊の1個中隊基幹

イ 人 員

約150名

ウ 主要装備

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲、航空機(UH-1)ほか

(2) 米海兵隊

ア 第3海兵師団第3海兵連隊第3海兵大隊の2個中隊基幹

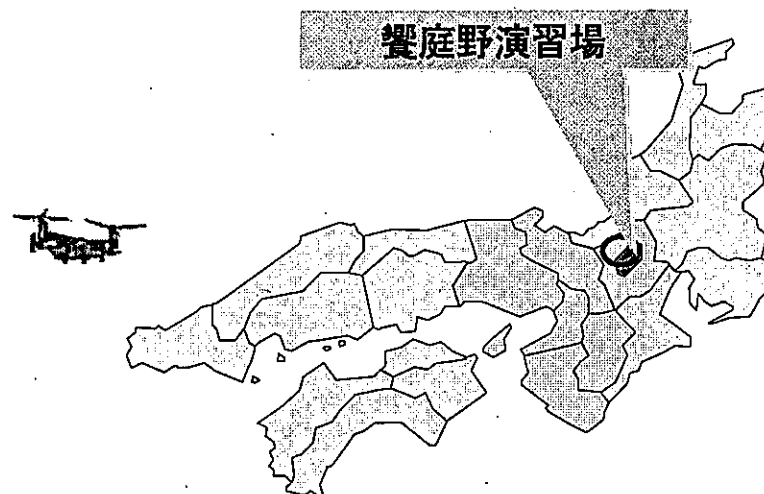
イ 人 員

約180名

ウ 主要装備

5.56mm小銃、7.62mm中機関銃、60mm迫撃砲、航空機(CH-53及びMV-22)ほか

国内における米海兵隊との実動訓練

名 称	国内における米海兵隊との実動訓練（本演習の通称：フォレスト・ライト（Forest Light））
目 的	陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動（指揮機関訓練を含む。）により訓練し、相互運用性の向上を図る。
時 期	平成25年10月7日（月）～10月18日（金）（12日間）
訓 練 特 性	○ 中部方面隊は、3年ぶりに国内における米海兵隊との実動訓練を担当（平成22年度：第14旅団と米海兵隊） ○ 饗庭野演習場における日米共同訓練の実施は、24年度に引き続き実施（平成24年度：第10師団と米陸軍） ○ 国内における米海兵隊との共同訓練において初めてとなるオスプレイの参加
訓練 イメージ	【機能別訓練】   【指揮機関訓練】   【総合訓練】  
訓練 場所	 * オスプレイ移動経路については、米海兵隊において検討中

全般日程表

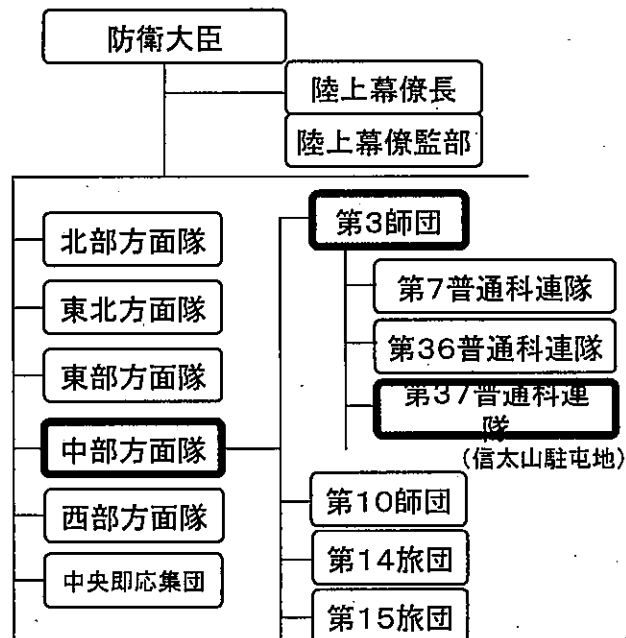
月	10月						
日(曜日)	5(土)	6(日)	7(月)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)
全 般	準備・行事等		機能別訓練				
			指揮機関訓練				
日 米 共 同 訓 練	出 迎 え 行 事	歓 迎 会	訓練準備	訓練開始式	障害処理訓練 第一線救護訓練 IED対処訓練 装備品展示	HMG射撃 狙撃射撃 至近距離射撃 爆 破 81M・60M射撃	ヘリボン訓練 市街地戦闘訓練 第一線救護 超越交代要領
			計画等作成に伴う日米共同による指揮幕僚活動				
日(曜日)	12(土)	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	18(金)
全 般	準備・行事等		総合訓練			研究会	整備・行事等
日 米 共 同 訓 練	史跡研修		訓練準備	陣地攻撃		現地 AAR	共同 AAR
	ホーム ビジット	訓練準備		命令下達 ~ 偵察活動		送別会	訓練終了式
				市街地戦闘 ~ 超越交代			米軍離脱
				縦深の目標に 対する攻撃 ~ ヘリボンによる 敵退路遮断等			

凡 例  : MV-22オスプレイを使用予定  : MV-22の使用を調整中  : メディアデー

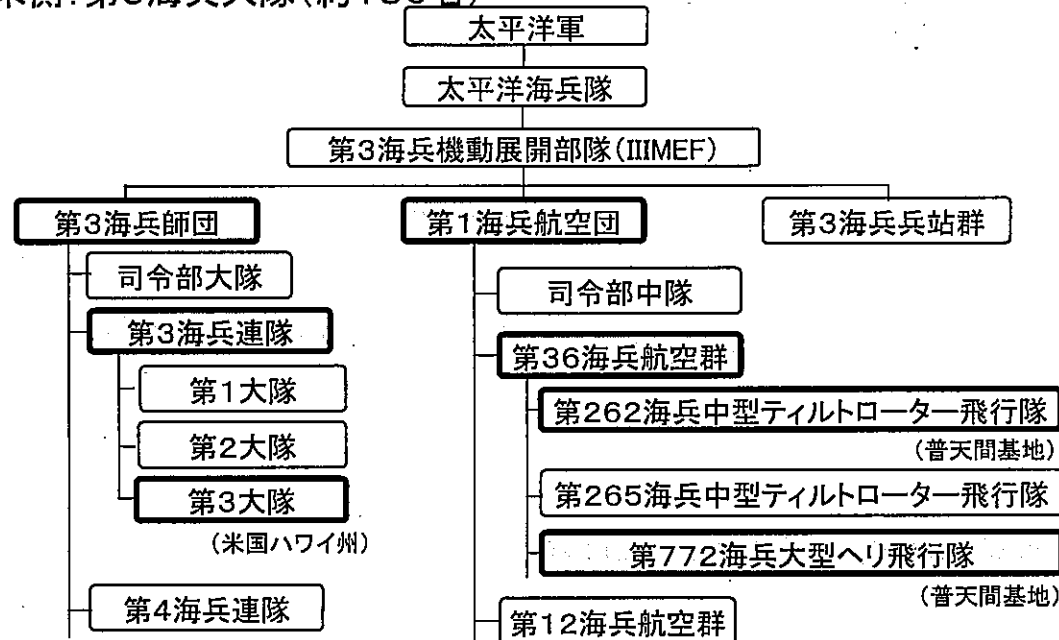
編成・装備

編 成

日側：第37普通科連隊（約150名）



米側：第3海兵大隊（約180名）



装 備 (一部)

【89式小銃】



口径:5.56mm
重量:3.5kg
全長:920mm
発射速度:約850発/分

【5.56mm機関銃】



口径:5.56mm
重量:7.01kg
全長:1040mm
発射速度:750~1000発/分

【81mm迫撃砲】



口径:81mm
重量:36.6kg
発射速度:20発/分
最大射程:約4000m

【120mm迫撃砲】



口径:120mm
重量:600kg
発射速度:15~20発/分
最大射程:8100m

【UH-1】



乗員:11人
速度:216km/h
航続距離:430km
全長:17.4m
全幅:14.7m
全高:3.9m

【5.56mmM16小銃】



口径:5.56mm
砲身長:508mm
重量:3.5kg
発射速度:約900発/分

【60mm迫撃砲】



口径:60mm
砲身長:1,000mm
重量:21.1kg
最大発射速度:30発/分
最大射程:3,490m

【HMMWV】



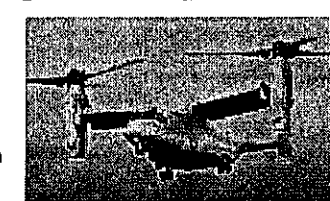
定員:4~6名
重量:2.3t
全長:4.8m
全幅:2.2m
速度:125km/h

【CH-53】



速度:240km/h
定員:37名
全長:27m
全高:7.6m
全幅:8.6m
航続距離:1000km

【MV-22】



速度:565km/h
定員:24名
全長:17.5m
全高:6.6m
全幅:25.5m
航続距離:1200km

ヘリボンの概要

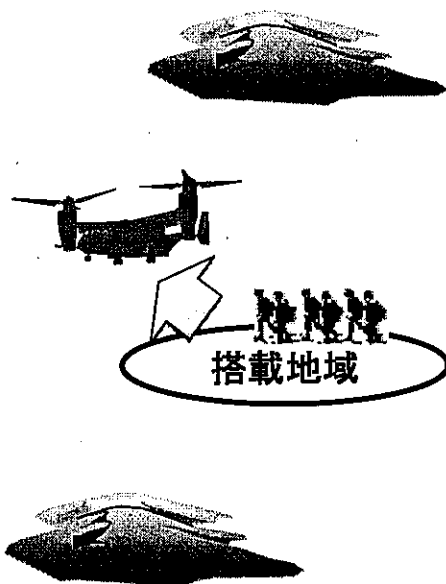
目的

「重要目標の攻撃」、「要点の占領」、「危機正面に対する対処・増援」等のため、地上からでは即応できない緊急かつ緊要な時期・場所に部隊を空中から機動させる。

イメージ

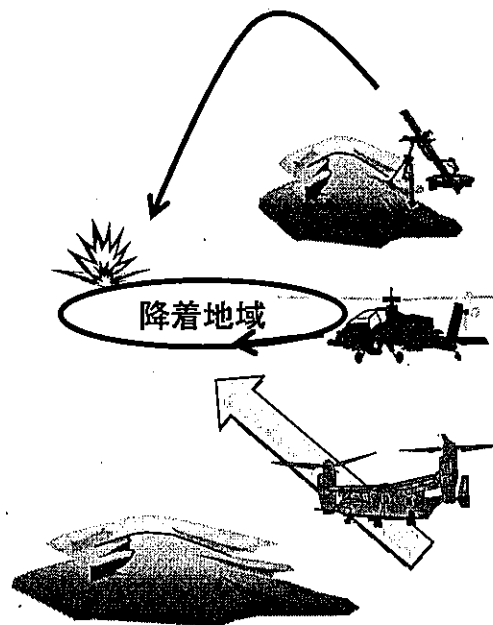
作戦準備

作戦地域から離隔した搭載地域において、隊員が搭乗



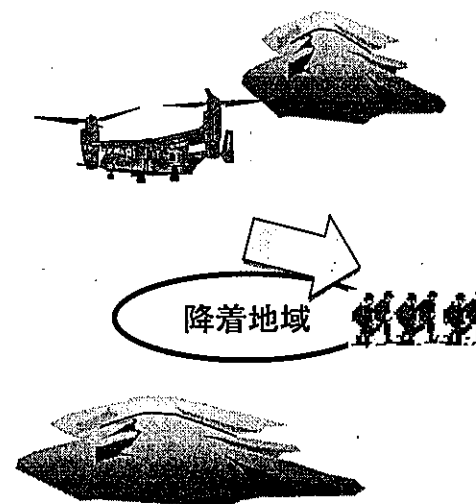
空中機動・降着地の制圧

部隊の空中機動間に、降着地域を事前に火力により制圧



降着地域への降着・展開

降着地域への降着後、部隊は展開するとともに、じ後は上記目的に応じ、作戦を実施



総合訓練(10月14日~16日)(イメージ)

総合訓練
イメージ図



行動
概要

日	14日(月)	15日(火)	16日(水)
行動概要	市街地戦闘	日米共同による 陣地攻撃	日米共同ヘリボン攻撃
イメージ			

オスプレイ飛行要領

オスプレイ
飛行要領



行動
概要

行動の概要	① 搭載地域における 搭乗	② 空中機動	③ 降着地域における 展開	④ 地上における日米 の提携・調整
イメージ				

(写)

滋 防 危 第 1802 号

平成 25 年(2013 年)10 月 2 日

防衛大臣 小野寺五典 様

滋賀県知事 嘉田 由紀子

日米共同実動訓練に関する要請について

本年 10 月 7 日から 10 月 18 日までの間、饗庭野演習場で実施される予定の日米共同実動訓練に関し、防衛省から、本職と高島市長が共同により防衛大臣に申し入れた 14 項目の質問に御回答いただくとともに、9 月 24 日、訓練概要について説明していただいたところですが、県民の安全と日常生活に支障をきたすことのないよう、また、必要な情報が関係機関等に迅速・確実に提供されるよう、万全の配慮をされることを要請します。

特に、今回のオスプレイの饗庭野演習場への飛行に関しては、市街地や近畿 1,450 万人の命の水源地である琵琶湖の上空を避けるよう米軍に申し入れをしていただくとともに、飛行ルートが判明次第速やかに情報提供をお願いします。